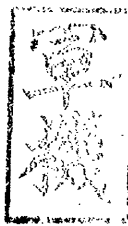


282

26
3
26
4

成功調査部長



機密第二十一特根第六號ノ四五

自昭和二十年三月一日
至昭和二十年三月三十一日

四月十一日送付

第二十一特別根據地隊戰時日誌

第二十一特別根據地隊司令部

(印)

2206

26
3

一 經 人 令 參 作 醫 會 令
 二 員 達 報 告 別 紙
 三 現 狀 考 要 概 過 衛 務 計 報
 四 報 告 考 要 概 過 衛 務 計 報
 五 報 告 考 要 概 過 衛 務 計 報
 六 報 告 考 要 概 過 衛 務 計 報
 七 報 告 考 要 概 過 衛 務 計 報
 八 報 告 考 要 概 過 衛 務 計 報

目次

(目次終)

2207

283

一、
經

過

2208

一、敵情

陸軍ノ兵力移動作戦ヲ窺知セル敵機ハ概ネ連日小「スング」各地ニ哨戒飛來シ、機帆船ノ行動ヲ阻害シ、「アンペナン」「レンバル」「バニユンギ」等各地ハ爆撃ヲ受ケタルモ、「シヤワ」島ニ對シテハ極メテ小規模ナル偵察ヲ實施セルノミナリ。

機雷敷設機ハ前月ニ比シ極度ニ減シ、月齡一ニ於テ一回飛來セルノミナリ

口、「タカン」「バリツク」各地方ノ敵機來襲ハ依然熱切ナリシモ月末ニ至リ「バンシヤルマシ」ニ飛行場ニB-24 P-38ノ飛來ヲ見ルニ至レリ

ハ、「シヤワ」海ニ於ケル「ボース」系潜水艦ノ出現ハ頻繁ニシテ支那海方面ニ出撃ノ途ニアリト觀ラル、モノ及「シヤワ」海中央部ニ般岩踞セルモノアリタルモ、下旬通信情報ニ依ルニ亦至ニ復

ハ「ボルネオ」西岸「カリマタ」海峡東側ニ固着シアリ、
「スマタ」海航行ハ今後相當此等ノ制扼ヲ受クベク敬言戒ノ
要アリ、

二我軍ノ狀況

一、第十方面艦隊ハ一日〇〇〇〇以降南方軍司令官ノ指揮下
ニ入ル

二、當隊司令官ハ一日〇〇〇〇ヲ以テ陸上警備ニ關シ第十六軍
司令官ノ指揮下ニ入り、隔在セル敬言備隊、派遣隊ヲシテ
當該防衛担任陸軍司令官ノ指揮ヲ承ケシメラル

但シ同教育訓練ハ陸海軍指揮官ヨリニ途ニ出ヅルコトト
ナリ、且防空ハ陸(海)軍指揮官ハ夫々陸(海)軍ノ指揮官
ガ指揮スルモノト命令(申進)シアリ、

三、當隊兵力中

- (一) 一日 〇〇〇〇ヲ以テ「マテイ」ン派遣隊ヲ撤收セリ
- (二) 同日附 AW 102ヲ甲區部隊ヨリ除ク
- (三) 十日附 W 101ヲ當隊艦隊區分ヨリ除ク
- (四) 同日附 第五拓南丸、十七昭南丸、AW 104、AW 105、京濱丸、海龍丸ヲKBニ編入ス
- (五) 同日附 AW 114ヲ甲區部隊ヨリ除ク
- (六) 十二日 AW 106ヲ甲區部隊ヨリ除キ直率部隊ニ加フ
- (七) 同日附 AW 115ヲ直率部隊ヨリ除キ甲區部隊ニ加フ
- (八) 十四日 京濱丸ハ「バリック」ペン向船團護衛中「一四四」
 S 五度五〇分
 E 一四度〇二分ニ於テ敵潛ノ攻撃ヲ受ケ沈没セリ
- (九) 同日附 京濱丸ヲKBヨリ除ク
- (十) 同日附 AW 104ヲ直率部隊ヨリ除キ甲區部隊ニ加フ
- (十一) 十六日 雁及 W 34ハKBニ編入セラレ即日直率部隊ニ加フ

2211

(三) SHBノ作戰指揮下ニアリシ ach 113 十八日復歸即日直轄部隊ニ加フ

(三) 二十日 25 附属水上機隊及「バンシユルマシ」水上機隊ニ對スル

作戰指揮ヲ解ク

(四) 34 司令ハ二十日 0000 ヲ以テ陸上防衛ニ關シ第三方面軍

司令官ノ指揮下ニ入ル

(五) W 11 H 34 ト共ニ「マカツサル」スラヤ間軍隊輸送作戰中

二十一日 一九三「マカツサル」港外ニ於テ B 1 24 一機ト交戦至近

弾ニ依リ沈没セリ

三 作戰指導

1. 海上交通保護

225. 艦長教育ヲ實施シ、敵潛敵機ノ跳梁セル爪哇海ニ於テ小艦艇艦長トシテノ護衛ノ任務達ニ必須ナル精神及技能

ノ向上ヲ圖ル

(三) 護衛打合ノ機ヲ利用シ船團護衛中ニ生起スル對潛對空戰訓講話ヲ中心トシテ當方面ニ於ケル適切ナル護衛方法ヲ研究指導ス

只對潛水艦

(一) 五日。二三。萬洋丸、長良丸、昭祐丸、南明丸船團 (aw 104)

第一第二昭南丸護衛ハ、バリツク、パン向航行中敵潛水

艦ノ雷撃ヲ受ケ萬洋丸ハES^{五度五分}ニ於テ、又長良丸

及昭祐丸ハ同日。六。ES^{四度五分}ニ於テ天々沈没セリ

直ニ水偵ヲ出撃セシメ護衛艦ト共ニ附近掃蕩セシムルト共ニ

十七昭南丸ヲ現場ニ急航セシメ協同該潛水艦撃滅ニ當ラ

シメタルモ終ニ撃テ沈スルニ至ラス

(二) 五日。二。水偵ハES^{五度五分}ニ於テ敵艦及潛水艦ヲ發見

攻撃セルモ効果不明

(三) 十二日二一。ack 17 八。八。一。七。度一。渾ニ敵潜没潜水艦ヲ
聴知捕捉附近警戒掃蕩セルモ終ニ失ス

(四) 十四日一三三。機帆船一隻ヲマサレンボ、ブツサル島東岸ニ於テ
敵潜水艦ノ砲撃ヲ依リ炎上沈没、又同日京濱丸八船團
護衛航行中敵潜ノ雷撃ヲ受ケ一四四ニES一四度五分ニ於
テ沈没セリ直ニ第一掃蕩隊(W12 九)ヲ急派護衛中ノ
十七昭南丸ト協同該潜水艦撃ヲ滅ニ當ラシメ屢々捕捉攻撃
ヲ敢行セルモ効果ヲ確認スルニ至ラズ

(五) 十四日一七二。パンシエルマシン基地水偵八同基地ノニ三八度一六四
渾ニ於テ敵潜水艦ヲ撃見直ニ第二掃蕩隊(九)ヲシテ
出撃セシメ水偵ニ協力掃蕩實施屢々攻撃ヲ敢行セルモ
効果確認ニ至ラズ

- (六) 十七日水偵八一。四。E_S六度三〇分、一四二。カンゲアンの四七度
 九。理ニ於テ天々敵潜水艦ヲ發見攻撃セルモ効果不明
- (七) 十九日。九五五「カンゲアンの基地ヨリノ方位一九七度五一理ニ
 於テ水偵ハ敵潜ヲ發見攻撃セルモ効果不明
- (八) 二十日。E_S四度一五分、E_S二度二七分ニ於テ味方水偵ノ攻撃ニ依ル油帯ヲ
 發見掃蕩開始一三三五油帯端ニ移動油紋ヲ認め攻撃
 實施氣泡重油ノ多量ニ湧出スルヲ認め引續制壓數時間
 後ニ亘ルモ尚油氣泡ノ湧出止マズ、撃手沈確實ナリ、
 一九二二日一九。〇。E_S二ハE_S五度三七分ニ於テ約五。〇米ニ亘ル油
 帯ヲ發見附近掃蕩ヨリニ三四五敵潜ヲ探知捕捉直ニ
 攻撃ヲ加ヘ濃度ノ油ノ引續キ多量ニ湧出スルヲ認めタリ
 撃手沈確實
- (九) 二十五日。四六方位測定ニ依リ敵潜ヲ「スラバヤ」ノ三五八度

線上ニ確認有ラシテ攻撃ヲニ向クシタルモ敵情ヲ得ルニ至
ラズ

(一) 二十五日二一五九W川及雁ハ「サブテ」島燈臺ノニ三四度四九度附近ニ
敵潛ヲ探知捕捉爆雷攻撃ヲ(計十九個)ヲ散行セルモ効果
不明

(二) 二十七日〇七三〇若鷹島ハS七度。九分ニ於テ敵潛ノ雷撃ヲ
受ケ艦橋前部大破道ニ甲區部隊ノ特務艇ニ隻ヲ急派
水偵ト共ニ掃蕩セルモ之ヲ失ス

(三) 二十七日〇九一五水偵ハ敵潛ヲE五度。三分ニ發見雁ヲシテ
該潛攻撃ヲニ向ハシメ、基點ヲ中心トスルニ。渾園内ノ掃蕩ヲ
實施セルモ、終ニ敵情ヲ得ルニ至ラズ、二十九日〇一四五「マサレ」
ブツサルヨリ二〇〇度ニ四渾ノ地點ニ於テ浮上中ヲ追躡セルモ

287 遂ニ此ヲ逸ス

八對航空機

二二日一三〇。B24六機、ロンボック南方ヨリ「バリ」島南岸ヲ經テ

「バニ」ワング「アン」ペナンニ投彈「ロンボック」島南西海上ニテ陸軍

機關機ト交戦後避退セリ

二十五日〇〇四五ヨリ約一時間半敵三機「スラバヤ」海峡北口ニ機

雷ヲ敷設セリ

三十六日B124三機「ロンボック」島ニ來襲「レンバン」ニ投彈セリ

四十三日一〇〇B124七機「ロンボック」島及「バリ」島東部ニ來襲

甲區部隊所屬艇ハ「アハ」泊地ニ於テ邀撃セルモ戦果ヲ與テズ

五十八日一九三一W11ハ「マカツサル」港外ニ於テB24一機ト交戦至近

テ「ヨリ」沈没

二邀撃帯設定

一基地

イ、ノラハニ航空基地作戰基地トシテ概成、零式水偵離着水
試験ノ結果良好

ロ、テンボホル航空基地零式水偵機ノ應急基地トシテ概成
工事中止

ハ、チラチマツプ航空基地水偵四機秘匿施設完成

ニ砲臺

イ、各平射砲臺耐彈強化工事中

ロ、チラチマツプ砲臺隧道内ニ設置、探照燈及發電機裝備
完了

三特設見張所

ロ、二五見張所對潜見張用トシテ着工

四、スラバヤ市内ニ耐彈式戦闘司令部所着工

二八、
ホ、教育訓練

- (一) 應急(A、B、C法)訓練、第一回馬來語促成講習開始
- (二) 初級士官教育(通信)
- (三) 三日喇叭吹奏行軍
- (四) 自三日至八日、自二十八日至四月二日
自十五日至二十日 衛兵特別教育
- (五) 奇襲隊訓練
- (六) 五日 衛生講話救急法(陸警、水警) 夜間陸戰訓練
- (七) 自五日「スライキ」在港艦船乗組員少尉及兵曹長ニ對シ掃海教育ヲ施行ス
- (八) 六日 應急(P法)訓練
- (九) 八日 衛生講話救急法(司令部)
- (十) 自八日「スラバ」本隊ニ於ケル艇長教育ヲ施行ス
- (十一) 九日 應急(P法)訓練、初級士官教育(衛生)
- (十二) 十日 教練發射(魚雷艇) 衛生講話救急法(水上機隊)

2218-2

289

- (由) 十九日 砲戰無線通信教練
- (由) 十一日 掃海訓練
- (至) 自十三日 至十五日 第一回奇襲隊訓練
- (共) 十四日 機銃準戰開射擊、初級士官教育(會計經理)
- (共) 十五日 新兵補教育查閱、應急(日法)訓練
- (大) 十六日 武裝大發整理操縱查閱、體操、關スル講話(溝口大佐)
- (先) 十八日 應急(S法)訓練
- (丙) 十九日 奇襲隊訓練
- (甲) 二十日 水中測的研究會、應急陸戰兵器取扱查閱
- (至) 二十二日「スラバ」綜合應急訓練
- (至) 二十三日 夜間陸戰應急訓練、爆雷取扱法ニ關スル講話
- (至) 二十五日 教練發射(大發射堡)、初級士官教育(衛生)
- (至) 自二十六日 至二十九日 小銃、機銃教練射擊

22/8.3

(庚) 二十六日「スラバヤ」地區陸上用發電機教育查閲

衛生講話救急法(水上機隊)

(辛) 二十七日 初級士官教育(戰況作戰)

(壬) 三十日 兵補ニ對スル精神講話

(癸) 三十一日 特定員軍刀術查閲(試斬)

二號作戰

挺身輸送隊八日一〇〇、スラバヤ「出撃」、十一日一八四。「クパン」着同日二〇〇七同地發、十三日一八〇。「スラバヤ」歸隊、作戰中「ピ」沖ニ於テ敵潛ニ遭遇セル他會敵ノ機ナク、作戰ヲ完遂セリ。

2746 DC 16086.8
NA 11565

204

第二十特別根據地隊戰時日誌

第二十特別根據地隊司令部

軍機
成功調査部長殿

機密第二十特別根據地第六號ノ四六

自昭和二十年四月一日
至昭和二十年四月三十日

2223

20.
4.

目次

一	二	三	四	五	六	七	八
經	人	令	參	作	醫	會	令
員	達	報	戰	戰	務	計	達
現	報	概	概	概	衛	經	告
狀	告	考	考	要	生	理	別
過	狀	告	考	要	生	理	紙

(目次終)

2224

293

一
經

過

2225

一敵情

不三日至八日第二號作戰第三次輸送艦艇行動ヲ作戰初期
ニ發見セル敵ハ「ドイツ」基地所屬機及當方面作戰中潜水艦
大部ヲ當輸送隊攻撃ニ集中セルモノ如ク六日甲比海峡ニ
於テWは更ニ七日四マ「北方」於テ五寸銃ヲ失フニ至レリ
口セレバス及「ボルネオ」各地ニ於ケル敵機來襲八月頭ヨリ頻化
三十七日敵ノ攻略部隊ハ「ラカン」ニ上陸作戰ヲ開始スルニ至リ
益々活潑トナリ沿岸ノ艦船航行頗ル困難トナレリ
八月十日印度洋ニアリタル敵機動部隊ハ「スマトラ」北部ニ出現
シ爾後數日ニ亘リ西岸各地ニ蠢動ヲ續ケタリ
ニ 上旬、暗夜期敵ノ機雷敷設機ハ「スラバヤ」ニ飛來セルモ
下旬月明期ニ至リ偵察ヲ目的トスル小數機ノ侵入頻化
シ十六日「O O B」一機ヲ以テ「カンゲア」ニ「アドラ」スラバヤ

294

チエフウ「シヤカルタ」バンドン「等」ヲ偵察スルハ最モ特異トスベキ事象ナリ
ホ 第六號作戦後ニ於ケル敵潜水艦ハ依然「シヤ」海東部主要航
路線ニ潜伏セルモ「シヤカルタ」バンドンカ「海峡」間航路線ニ出現ヲ
見ルニ至リタルハ敵警戒ヲ要スベキ事象ナリ

ニ我軍之状況
當隊兵力中

- (一) 一日附第四警備隊、第六敵言備隊ヲ第六敵言備隊ヨリ除キ
第一警備部隊ニ編入セラル
- (二) 一日「大マサレンボ」島ニシテ三五見張所ヲ設置シ直率部隊ニ加フ
- (三) 二日「ach」ヲ「区」部隊ヨリ除キ直率部隊ニ編入シaw103ヲ直率
部隊ヨリ除キ「区」部隊ニ加フ
- (四) 三日五十鈴ハ二號作戦後ニ次輸送ニ關シ三日ヨリ七日マデ「KB」
指揮下ニ入ル

SSS

2227

- (五) 六月一六三五W及ハニ號作戰第ニ次輸送艇身輸送隊トシテ五時餘
艦長指揮下ニ依戰中カハ海峡ニテ敵潜水艦ノ雷撃ヲヨリ沈没セリ
- (六) 十日附 ach 106ヲ直率部隊ヨリ除キ戊區部隊ニ加フ
- (七) 十二日附 雁ヲ直率部隊ヨリ除ク
- (八) 三十日附 P 104ヲ 2/09ヨリ除ク

三 依戰指導

二十七日TB千早ニ號作戰發動セラレ當隊ハ各部隊ヲシテ見張
警戒ヲ嚴ニセシメタリ

イ 海上交通保護

一 護衛打合ノ機ヲ利用シ船團護衛中ニ生起スル對潛對航空機
ニ關スル戰訓ヲ中心トシ當方面ニ於ケル適切ナル護衛方法ヲ
研究指導スルト共ニ各艇水測員並ニ信號見張員ニ對スル
潜水艦ヲ目標トスル水中測的及信號見張訓練等ヲ實施對

海兵器整備、技術、向上ヲ圖ル

(二) 敵浮上潜水艦ニ依ル機帆船砲撃ヲ頻發シ、狀況ニ鑑ミ近海ニ於ケル對潜水艦基地利用、情況ヲ調査セシムルト共ニ機帆船船團航行上、航路選定及會敵時、處置ニ付研究指導ス

(三) 一日海上交通保護部ヲ第一港務部内ニ開設シ海上交通保護事務ヲ徹底化ス

(四) 敵偵察機ノ飛來頻化ニ鑑ミ修理艦船ノ工事促進及港内ニ於ケル泊地散開ヲ實施ス

口對潜水艦

(一) 三日〇八〇〇ガブンテン島沖ニ敵浮上潜水艦ニ隻同島東側ニ假泊中、機帆船一隻ヲ砲撃ヲ擊沈セリト土民報ヨリ水偵對潜水艦スルモ敵情ヲ得ズ

- (三) 五日〇四〇〇五十鈴ハワインガツプリヨリ十度三十五理ニ於テ敵潜水艇ノ攻撃ヲ受ケタル被害ナク雁ハ此ヲ攻撃セルモ効果不明
- (四) 六日一五〇八WハES八度四分ニ於テ敵潜水艇ノ雷撃ヲヨリ沈没月光三機同潜水艇ヲ発見攻撃セルモ効果不明
- (五) 七日〇八三七五十鈴ハヨリ三三度五六理ノ地点ニ敵潜水艇ノ攻撃ヲ受ケ被雷沈没直キニCh! Ch又ヲ派シ附近ヲ掃蕩セルモ此ヲ逸ス
- (六) 七日一四〇〇水偵ハ敵潜水艇ES七度四分ニ発見攻撃セルモ豪雨、鳥効果不明
- (七) 八日〇九三五水偵ハES五度四分ニ於テ油紋ヲ発見爆撃シ油湧出スルヲ認ムルモ効果ヲ確認スルニ至ラズ
- (八) 八日一三五〇雁ハES六度三分ニ於テ敵潜水艇ノ雷撃ヲ受ケタル被害ナク、水偵ト協力シテ之ヲ攻撃セルモ効果不明

2230

八月廿〇日。敵艦六隻。於此。敵艦六隻。見攻撃す
之。此。初。未。不。消。

(九) 十日一三〇〇。望。方。外。八。敵。艦。六。隻。見。攻。撃。す。に。依。り。五。度。三。分
二。於。之。沈。没。ス。ル。ヲ。以。テ。海。龍。丸。AL103。及。AL106。ヲ。以。テ。攻。撃。す。セ。ル。モ
損。破。ス。ル。ニ。至。ラ。ズ。

(中) 十一日。九。一。〇。水。雷。公。艦。五。隻。五。度。三。分。三。於。之。敵。洋。上。潛。水。艦
一。隻。見。發。見。見。攻。撃。す。セ。ル。モ。初。未。不。明。

(六) 十一日。一。三。一。三。水。雷。公。艦。六。隻。五。度。三。分。三。於。之。敵。洋。上。潛。水。艦
一。隻。見。發。見。見。攻。撃。す。セ。ル。モ。初。未。不。明。

(五) 十一日。一。六。〇。敵。潛。水。艦。六。隻。五。度。三。分。三。於。之。浮。上。グ。レ。ン
登。在。海。面。船。二。對。シ。砲。撃。す。如。今。大。洋。丸。第。十。一。号。運。丸

第。一。号。六。號。交。通。船。八。沈。没。ス。如。今。交。通。船。八。自。ラ。火。災。ヲ。生。シ
自。爆。ス。或。高。速。艇。二。艘。坐。死。直。三。號。水。雷。公。艦。八。攻。撃。す。セ。ル。モ

捕提スルニ至ラズ

(五) 十二日一八四五水偵ハ、シンガラツヤノ三〇度五埋ニ於テ敵

潜水艦ノ漏油ヲ發見、攻撃ヲセルモ効果不明

(六) 十四日〇七五〇華宏丸ハ、E_S五度一五分ニ於テ敵潜水艦ノ

雷撃ヲ受ケ沈没、護衛中ノ第一昭南丸附近ヲ掃蕩

セルモ捕提シ得ズ

(七) 十五日二三一五第一昭南丸ハ、E_S二八度三分ニ於テ敵潜

水艦ノ雷撃ヲ受ケ沈没セリ、此後AW₃附近ヲ掃蕩

セルモ撃ヲ沈スルニ至ラズ

(八) 十六日〇八五七唯ハ、E_S二六度三分ニ於テ敵潜水艦

ヲ探知、捕提シ味方水偵ト協力攻撃ヲ加ヘタルニ濃油氣

泡湧出スルヲ認メ、撃ヲ沈確実

(九) 十八日〇五〇羽黒ハ、E_S五度四分ニ於テ敵潜水艦ノ

雷

敷子ヲ受ク。W1103ハシヤカルク水兵隊ノ協力ヲ
得コレヲ掃蕩中。十九日。四三。W103ハES五度五分ニ於
テ之ヲ捕捉攻撃。濃油、氣泡湧出セシメ、確實ニ敷子
沈セリ。

(六) 二十一日。四二。足柄ハES五度二分ニ於テ敵潜水艦
ノ雷撃ヲ受ケタルモ被害ナク水偵及哨ノ之ヲ攻撃セ
ルモ効果不明。

(七) 二十二日。二一。月光一砲ハES八度三分ニ於テ敵潜水艦
ヲ発見攻撃。加ヘ至近弾ヲヨリ撃テ破セリ。

(八) 二十三日。八五。荒崎ハES二五度五分ニ於テ敵潜水艦
ノ雷撃ヲ受クルモ被害ナク。十七。昭南丸ハ直ニ攻撃。次デ

AL1103ハ水偵及月光ノ協力ヲ得攻撃スルモ効果不明。

27 (九) 二十四日夜半敵潜水艦一隻口子島ピアコヨリ南

附近ニ出現濠洲兵六名上陸シ土民ニ名ヲ振致シ南方
 ニ遁走セルモノ二十八日。五〇〇再ビコソリニ先ニ振致
 シル土民一名ヲ連行上陸セルモノ
 (丑)二十五日一四三。水偵ハES二五度四十分ニ於テ敵潜水艦ヲ
 發見攻撃スルモ効果不明
 (寅)二十六日〇三一七W34ハES二五度二七分ニ於テ敵浮上潜水艦
 ヲ發見直ニ砲撃テ次デ爆雷攻撃ヲ加ヘタルモ撃テ沈
 スルニ至ラズ
 (卯)二十八日一七一。第五拓南丸ハES二六度四十分ニ於テ一七二。
 早崎ハES二六度四十分ニ於テ敵潜水艦ノ雷撃ヲ受ケ
 クルモ何レモ被害ナク附近ヲ掃蕩セルモ敵潜水艦ヲ得ズ
 (辰)三十日一三五大丸ハES二七度四十分ニ於テ敵潜水艦ノ雷
 撃ヲ受クルモ被害ナク護衛中ノ味方ハカンゲアン

水上基地の偵察と切力掃蕩セルモ此ヲ逸ス

八對 航空機

一九日〇五〇〇敵二機舊スラバヤ西岸海水路附近ニ機雷ヲ

敷設セリ

二十日十五日夜間敵機三カ至西機スラバヤ海峡北口附近ニ

機雷ヲ敷設セリ

二十六日二〇〇B129單機ニテカンゲアン「マドラ」スラバヤ

「チニアウ」シヤカル「ランドン」各要地ヲ偵察セリ

四十八日二三〇〇敵二機「スラバヤ」南岸海水路附近ニ機雷敷

設セリ

五十九日二〇四〇ヨリ約一時間B124ニ機「スラバヤ」要地ヲ

偵察セリ

29 六十三日〇八四五ヨリ約二時間B29ニ機「スラバヤ」要地ヲ偵察セリ

七、二十四日二一四〇B一、二四回機「スラバヤ」附近ニ侵入シ小型爆弾
四發投下ス

戰果 一機撃墜 一機撃破セリ

八、二十六日二三三〇B一、二四三機、シヤワ島東部南岸ニ飛
來、ポルグニ投弾、後遊退セリ

九、二十七日〇〇五五B一、二四延ニ機南西及南東ヨリ「テンバツサル」
附近ニ飛來襲「タータ」飛行場上空ニ於テ我地上砲火ト
交戦同飛行場南方高地帯ニ投弾後南東ニ退去、
同日夜間再ビB一、二四スラバヤ地區五機同南岸ニ約四機
飛來「スラバヤ」及「マラン」飛行場ニ投弾ス
一機ヲ撃墜セリ

十、二十八日二十九日夜間敵大型小數機「シヤワ」島南東ヨリ
侵入、マラン飛行場「タータ」飛行場ニ投弾セリ

ニ邀撃了帶一設定

ニ基地

アニヤール武裝大發基地ハ魚雷格納所(三ヶ所)新設ニ
着手(ソ外完成)

口砲臺

- 一) キラキヤツポ砲臺國獲十二種砲三基試射成績良好
- 二) 百五十種探照燈ヲスラバヤ東西兩地區ニ各一基裝備
- 三) コンボック西砲臺二十五種一門付完了
- 四) マドラ第五砲臺八種高角砲一門撤去、十三耗單
裝機銃一基裝備
- 五) マシグラン所在七。ニ部隊二十五耗單裝機銃四基ヲ
同聯裝ニ基ニ改裝

299
待設見張所

對潛見張用トシテ「大子レンボ」島ニシテ三五見張所ヲ
進出セシメ、十四日探信開始施設整備中

二其ノ他

各施設ノ耐彈強化及偽裝促進中

本教育訓練

- 一 一日 應急(A・B・C)訓練、ニ號作戦ニ関スル打合會
- 二 二日 第一次内火艇教育訓練開始
- 三 三日 陸戰訓練
- 四 自四日至十五日 奇龍艇隊訓練
- 五 八日 應急(D・K)訓練
- 六 自十日 陸戰訓練
- 七 十一日 應急(P)訓練
- 八 自十二日至十六日 初級士官特別教育

300

- (九)十四日 二號作戰第三次輸送 研究會
- (十)十五日 初級士官教育(情報工作)
- (十一)十六日 奇襲隊訓練 陸戰訓練 第一回冷達
- (十二)十七日 書類整備査閲
- (十三)十九日 銃劍術競技
- (十四)二十日 第一回隊内信號術競技
- (十五)二十五日 應急(S)訓練
- (十六)二十六日 初級士官教育(法務)銃劍術及軍刀斬撃了競技 第三回防護委員會
- (十七)二十七日 奇襲隊訓練
- (十八)二十八日 初級士官教育(二部隊見學)
- (十九)二十八日 手先信號競技

五

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日		
								ヤ																								時一五
								面		方																						時一六
																																時一七
																																時一八
																																時一九
																																時二〇
																																時二一
																																時二二
																																時二三
																																時二四
																																時二五
																																時二六
																																時二七
																																時二八
																																時二九
																																時三〇
																																時三一
																																時三二
																																時三三
																																時三四
																																時三五
																																時三六
																																時三七
																																時三八
																																時三九
																																時四〇
																																時四一
																																時四二
																																時四三
																																時四四
																																時四五
																																時四六
																																時四七
																																時四八
																																時四九
																																時五〇

2241

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日	
		〇九 五	バ ヤ	ス ウ			務	任	衛			護			ス ラ	バ ヤ	ス ラ	一 二 五	務	任	衛	護									招 不 五 丸
		一 二 〇	バ ヤ	ス ウ		務	任	衛	護			ヤ			バ		ラ			ス											昭 南 丸
											面		方		ア		ヤ		シ		西										海 龍 丸

303

二人員ノ現狀

1889

2243

一 職員官氏名 (根據地隊)

職	主務	官	氏名	記事
司令官		少將	田中菊松	
參謀兼副長	全隊補佐、川部隊長 今心、船教育指導主任長	大佐	篠原多磨夫	
參謀兼分隊長	防疫、保健衛生、救護 第一〇分隊長	醫少佐	吉野彦助	
參謀	陸上作戰、防空、通信	少佐	小山良三	五日着任
同	運輸、補給、造修、施設	同	安田和生	
副官	海上交通保護	同	關谷鋲爾	
三隊長兼分隊長	第二分隊長、兵補指導主任長 佐賀、慰安、功績	主大尉	大原昭三郎	
隊附	三特根海上交通保護部附	大尉	菊地武	五日着任
隊附兼分隊長	陸軍科長、陸軍科長 佐賀、兵司令	同	吉本勝喜	
同	第五分隊長、第三〇分隊長 水島、和長、教育、職務執行	同	島内功	
同	第六分隊長、職務執行 中津、和長、教育、職務執行	同	甲斐信夫	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	隊	隊
稀海隊指揮官	參謀附兼副官附航海長 通信長九分隊長職務執行	水警科附	三特根海上交通保護部附	主計長附給與主任	電報科長初任下士官新兵 教育主任兼五分隊長職務執行	三分隊長職務執行	同	同	軍醫長附	學醫長 スラバヤ方面特別防務隊附	隊附 主計長附衣糧主任	隊附兼分隊長 第四分隊長兼對空科長
同	同	中尉	大尉	主大尉	同	大尉	同	同	同	醫大尉	主大尉	大尉
河野末藏	内之宮助一	五島義基	山手富二	多湖敬衷	赤崎重徳	森山清藏	藤間弘行	遠藤昇五郎	新田博道	植葉千里	高橋淑郎	中尉 登
		二九百退院	一八百着任				一〇日着任	二四日着任				

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	隊	
											附	
内務科附兼三〇分隊士	掌 砲 長	水警科附兼三〇分隊士	掌 機 雷 長	一五驅特艦長	掌 電 測 長	参 謀 附	掌内務長兼掌機長	主 計 長 附	軍 醫 長 附	水警科附兼對潜訓練員	四 分 隊 士	陸警科附兼三〇分隊士
同	同	同	同	同	同	同	少 尉	主 中 尉	醫 中 尉	同	同	中 尉
庄 野 末 喜	渡 邊 克 美	元 嶋 喜 松	松 尾 茂	林 敷 馬	前 田 久 次 郎	岡 西 義 雄	渡 部 亀	青 樹 茂 雄	川 島 日 出 男	糸 井 利 夫	三 浦 三 郎	高 橋 多 賀 志
								二五日着任 二三病之分隊中	一〇日着任	一四日着任		

3055

2247

306

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	隊
												附
一十七驅特艇長	陸警科附甲板士官	五分隊士	一〇七驅特艇長	内務士甲板士官	三〇六見張所長	二分隊士	九分隊士	三分隊士	五分隊士	二分隊士	三分隊士	三〇九張所長
同	同	同	同	同	同	兵曹長	同	同	少尉候	同	同	少尉
木下唯八	徳永五次郎	中廣新太郎	山岡末吉	永野義盛	朝井茂	御代田初平	中村正二	成田真一	井澤孝哉	大藏利男	中尾成	忽那松若丸

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	隊
陸改言科附置老衛部司令	シ一見張清長	シ〇一見張清長	陸改言科附置	陸改言科附置三分隊士	四分隊士	三分隊士	陸改言科長附置掌學部司令	一〇四驅特艇長	田二驅特艇長	富士從長	掌踏號長	新分隊士兼三分隊士
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	兵曹長
河野喜美	吹留仁助	尾崎敏郎	高岡栄市	下元近恵	小幡林	岡田徳次郎	岡田恒人	松岡敦宗	上井通男	徳田亨	福山勇	坂口梅雄
										九日退院		

2250

207

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	陽
一一五	一一七	三	四	二	四	同	二	同	三	水	三	陽
驅特栗組	驅特栗組	分隊士	分隊士	分隊士	分隊士		分隊士		分隊士	警科附同	分隊士同	陽
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	陽
西木春次	榊島清音	渡木勇哉	森雄	池田米雄	小森精一	竹中利男	佐伯友一	内金義徳	古賀俊雄	北岡才喜	櫻井貢	河野清彦
										六日差任		

2251

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	隊	隊	隊
										附	隊附兼分隊長	附
川	臨時第3高統海艇乗組	ジャカルタ分遣隊附	同	ジャカルタ分遣隊長	同	同	同	同	同	クリスマス分遣隊附	クリスマス分遣隊長	掌看護長ニ分隊長
部	分遣隊附	中尉	同	中尉	機曹長	兵曹長	同	同	同	中尉	大尉	衛曹長
村	中野増男	西村 雀	高橋 吉郎	横田 暉	中島次郎	志賀 逸喜	梶原 重義	中野 盤	橋川 一喜	東 四郎	富永 熊男	佐々木 吉三郎
岡	素行											
	ニ〇日退隊											

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	隊
												附
一〇大砲特隊長	一〇三掃特隊長	一〇大砲特隊長	同	同	同	一〇三掃特隊長	同	同	同	同	シヤカル夕介遣隊附	シヤカル夕介遣隊附
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	少尉	中尉
池田	阿久根五郎	秋山芳男	岡崎岩三	小川辰雄	小笠原春雄	津村新太郎	伊藤三郎	塩野一三郎	岡部光治	久保五郎	中村敬吾	中村榮一

2254

同	同	同	同	同	同	同	同	承命服務	同	同	同	隊
												附
第五石南見隊長兼	一〇五掃特能長	一一三驅特能長	第一七昭南丸隊長	第二對潛指道才班長	三特根海上交通保護部附	水警科附	一三令隊長職務執行大尉	二特根海上交通保護部長 兼港務部長承命服務	同	子ラ子マツ分遣隊附	兼川部隊附	子ラ子マツ分遣隊長 兼八分隊長職務執行
同	同	同	同	同	同	同	大尉	少佐	兵曹長	少尉	同	中尉
稅地義雄	穗滿新吉	中野齊	由中正吉	岸本福次郎	高見一男	井上五郎	小山三津三郎	中島靈城	中原初雄	西村源次郎	鹿島末雄	島津猛雄
三月一日着任					即日承命服務着任	同	三日着任	即日承命服務着任				

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	承命服務
同	同	對空科附	兵備科附 兵備科附 兵備科附	通達長承命服務特見坂 通達長承命服務特見坂 通達長承命服務特見坂	同	三〇分隊士	軍醫長 軍醫長 軍醫長	軍醫長 軍醫長 軍醫長	軍醫長 軍醫長 軍醫長	軍醫長 軍醫長 軍醫長	運轉班主任輔佐	兵補指導班附
同	同	同	同	同	同	中尉	同	同	同	同	同	大尉
藤村和男	岩田厚耳	杉野達人	小川弘	寺島隆	小山巧	高山榮三	荒川博	持松文彦	小西健介	三宅一則	銀山忠兼	渡邊豊
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

3101

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	承命服務
同	水警科附	第一分隊士兼初任下 管新兵教育主任附	第一分隊士兼初任下 管新兵教育主任附	同	對空科附	二五拓南九東組士兼	一七七驅特乘組	三分隊士	參謀附	陸軍科附兼水警隊中校管	軍醫長附一〇分隊士	第三四號掃海艇乘組 醫中尉
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	少尉	同	細川勉
佐藤光	青木淺吉	秋山虎男	山本一三	糸貫一	佐々木原宏	竹内悦次郎	宇井一部	清宮秀雄	和辻春夫	柳田貞夫	吉井博信	二〇日選隊
	三日着任			同	三日着任 即承命服務着任	三日着任		同	同	三日着任		

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	承命服務	
九分隊士	少佐	第一七隊隊長	一七隊隊長	福妻隊長	水警科附	陸警科附	第三對潛指道士	第一〇三隊特務組	一二分隊士	九分隊士	内務科附	水敵言科附
同	同	同	同	同	同	同	兵曹長	少尉候	同	同	同	少尉
岡田	小三	内田	森田	岡田	塚原	石橋	北井	岡義忠	大塚	石澤	坂口	突
榮	松	正	貞	茂	探	貞信	文藏	忠	忠	邦治	芳松	恭一
三月着任	三月〇日着任		五月着任							三月着任	三月入院	

511

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	永命服務
水警科附	大洋丸栗組	内務科附	一〇五掃特栗組	水警科附三分隊士	第一五分隊士	水警科附	同	一〇四掃特栗組	第一三驅特栗組	水警科附	同	九分隊士
同	同	同	同	同	機曹長	同	同	同	同	同	同	兵曹長
平尾虎男	倉光満明	日誌同	大内安一	片山家昌	田村庄七	岸田年春	宮原進	佐々英郎	山川新五郎	錦織忠	同	森田尚藏
							二百戦死			同	同	三月着任

同	同	同	同	同	同	同	同	隊命服務
主計長附兼二五分隊士	内務科附兼二五分隊士 特別防務隊隊長	内務科附	一五分隊士	電檢科附兼二五分隊士	一三分隊士	兼二南丸隊士	一五分隊長隊命服務	一三分隊士
主曹長	同	曹長	同	同	同	同	同	機曹長
丸室初一	小室萬次郎	春田清	合田淺太郎	岩橋恒衛	大野清壽	谷本義輝	佐藤多市	永島角一
二三日入院				同	二日着任			

2260

3/2

二 根據地隊總員數

種別	士官	特准	下士官	兵	判任文官	兵補	其他	合計
員數	六一	一三一	一一三一	三三九九	二	一一五八	五五	四九三七
記事	四月末日現在ヲ示ス							

三 麾下總員數

種別	士官	特准	下士官	兵	雇員	兵補	其他	合計
員數	六五	四五	六三六	九六〇	六九	五〇二		二二七七
記事	四月末日現在ヲ示ス							